

有限会社共同設計企画

経営学部 1年 峰重 涼大

～会社概要～

創立・・・昭和56年1月9日

資本金・・・305万円

代表者・・・春日謙一

住所・・・京都市左京区西院上今田12



魅力の会社紹介

- 工場のない会社
- 会社規模・・・20人強の設計技術集団、
（エンジニア2人）
- 中国人留學生の採用経験あり
- 社長がいない会社

決定はすべて会議で

社長がいない会社

理由：大学時代の友人たち4人で作ったから社長を決めなかった！

社長がいない利点と欠点

- ・ 利点・・自分たちで方向性を決めれるのでやりたいことに挑戦できる。
- ・ 欠点・・問題が起こった時に責任を取る人がいない

これまでの事業内容

図面作成・・・大企業に依頼されて図面作成をするだけで



世界の流れに影響され浮き沈みが出ると
気づいた

図面作成＋生産機械製作・・・機械製作を始めても大企業は、
下請けから買った機械を
もとに自社で機械製作するので
数百万台の規模では買ってくれない

これからの事業展開



- 中国の企業と日本の中小の電池製造メーカーと手を組んで電気自動車に搭載するリチウムイオン電池を開発して中国市場に売り込むプロジェクト
- メリット：最近では、中国の方が日本より人件費が高くなっていることもあり、日本で電池を開発・製作することで「Made in Japan」というブランドで中国に売り込むことができる。

共同設計企画の強み！

なぜ今、中国で 電気自動車なのか？

前提として、電気で車を動かす方がガソリンで動かすよりも効率がいい。
ただ、電気はためることが難しい。電池が開発されたのもごく最近のことだ。
電池は形がいっぱいあり、いろんな媒体に利用されているので需要はあるが、
開発されて間もないこともありしっかりした方向性は決まっていない
＝スタート地点が各国一緒！



中国は、これから主流になってくるであろう電気自動車産業に注目した。
電気自動車は日本やドイツ、アメリカなどの自動車産業国との差が小さい。
中国は、国をあげて充電整備などのインフラ投資も推奨している。

共同設計企画の中国での自動車産業への 関わり

中国・・・会社を辞めるごとに給料が上がる！

= エリートは会社に残らないので生産技術が企業に
つきにくい

* 生産技術・・・モノの性能を100%発揮させる技術

共同設計企画は、日本の人材を提供することや生産管理を数値化
してくれる機械を提供することで関わっていく！

感じた魅力

- ・ 果敢にいろんな事業に取り組む
- ・ 努力する人を採用する